

整理番号	20-9	事務事業名	児童センター運営事業	作成部署	保健福祉部児童家庭課	電話	内線801	
事務区分	自治事務	法定受託事務	部長職名	上村 弘志	課長職名	八町 史郎	作成日	平成17年6月
事務事業開始年度	H15	根拠法令等	・北広島市児童センター条例・「児童館の設置運営要綱」(事務次官通知)					
〃 終了予定年度								
事務事業開始のきっかけ(導入当初の目的等)	児童の健全育成を目的とした児童センターの整備は、「北広島市総合計画」第1次実施計画及び「児童育成計画」に基づき整備されており、平成15年度に「輪厚児童センター」が開館し、現在2館目として「(仮称)大曲児童センター」を建設中である。							

1 計画(プラン)

上位施策との関連(総合計画での位置付け)	章	安全で安心できるまち	(第1章)
	節	児童福祉	(第3節)
	施策	児童の健全育成	(第3施策)
目的(ここから成果指標を導きます)	対象(誰、又は何を)	主に児童	
	意図(何をねらっているのか。対象をどのような状態にしたいのか)	児童に健全な遊び場を提供し、その健康を増進するとともに、豊かな情操の育成を図る。	
手段(ここから活動指標を導きます)	市が行った(行う)事務事業の具体的な実施内容(団体補助等の場合はその補助金による団体の活動内容を記載)	16年度まで	輪厚児童センターにおける運営内容 ・非常勤職員(児童厚生員)3名の配置 ・開所:週6日(火曜日休館)午前9時30分~午後5時30分 ・センター祭り、異年齢交流、のびのびランド等の行事の実施
		17年度	(輪厚児童センター:同上) (大曲児童センター:平成18年4月オープンに向け、2月より職員を配置し開館に向けての準備を行う。)

2 実施(ドウ)

【事業費の推移】

(単位:千円)

区 分		15年度(決算)	16年度(決算)	17年度(予算)	18年度(予定)
直接事業費	国支出金			(当初予算ベース)	
	道支出金				
	地方債				
	その他特財	18	15	43	43
	一般財源	9,350	9,210	10,669	18,291
	合計	9,368	9,225	10,712	18,334
人件費(概算)	人数(年間)	0.20	0.20	0.30	0.50
	1人当り年間平均人件費	9,000	9,000	9,000	9,000
	= ×	1,800	1,800	2,700	4,500
総事業費 +		11,168	11,025	13,412	22,834

【事務事業を評価する指標(ものさし)】

指 標	指 標(算式)	指 標 値			
		15年度	16年度	17年度(目標)	18年度(目標)
活動指標 (事務事業の活動量や実績)	年間利用者数				
	(輪厚児童センター)	10,298人	8,659人	10,500人	12,000人
	(大曲児童センター)	-	-	-	18,000人
成果指標 (目的の達成度を測るものさし)	日平均利用者数				
	(輪厚児童センター)	34人	28人	35人	40人
	(大曲児童センター)	-	-	-	60人
効率指標 (主要活動単位当たりコスト)	利用者1人当たりコスト	1,100円	1,300円	1,300円	800円

3 評価(チェック)と改善(アクション)

事務事業を取り巻く社会環境の変化や今後の予測・他市町村の動向等	少子化、核家族化、都市化など、家庭や子どもたちを取り巻く環境の変化が進んでいく中で子どもの遊び場の不足や不審者の出没などにより、安心して遊べる場所の確保など児童館の整備に対する要望は強い。 近隣市の整備状況・江別市 5箇所・千歳市 6箇所・恵庭市 1箇所・石狩市 4箇所
---------------------------------	--

【妥当性の評価と改善の方法等】

項目	判定	判定の説明や課題	改善の方法
行政関与の妥当性 【市が実施すべき事務事業ですか。市民・企業等での実施可能性はありませんか】	適切 改善の余地あり(改善の方法記入)	「児童センター」においては、設置及び運営の主体は市並びに民法法人及び社会福祉法人とされている。	今後は社会福祉法人等による業務委託や指定管理者制度の導入を検討する。
目的の妥当性 【社会経済情勢や市民ニーズの変化などから、設定した対象や意図は妥当ですか】	適切 改善の余地あり(改善の方法記入)	遊び場の提供のみならず、センター行事を通じて地域とのコミュニケーションやスポーツにより体力の増進を図るほか、子育て支援活動に積極的に活用されている。	
手段の妥当性 【現在の手段は適切ですか。もっと効率的で有効な手法はありませんか】	適切 改善の余地あり(改善の方法記入)	センターは、3名の非常勤職員(外臨時3名)で運営されている。	今後は社会福祉法人等による業務委託や指定管理者制度の導入を検討する。
受益者負担の妥当性 【受益者負担の適正化の余地はありませんか】	適切 改善の余地あり(改善の方法記入) 該当しない	一般開放施設であり、また利用者の多くが小学生であり利用者負担はなじまない。団体等による施設占有は有料。	

【有効性と効率性の評価と改善の方法】

項目	判定	判定の説明や課題	改善の方法
有効性の評価 【意図した成果は上がっていますか】	十分成果が上がっている 概ね成果が上がっている あまり成果が上がっていない 成果が上がっていない	輪厚児童センターは、市内で最初の児童センターであり、年間利用者も1万人近くの市民に利用されている。地域活動や子育て支援活動にも積極的に活用されている。	
効率性の評価 【手法は効率的ですか。コスト削減の方法はありませんか】	十分効率的 概ね効率的 やや非効率 かなり非効率	コストは非常勤人件費及び施設維持費であり、地区集会所及び学童クラブの併設により維持コストを抑えている。	

【事務事業担当部局内優先度】

部局で所管するすべての事務事業の中で、この事務事業の位置づけはどの程度ですか

A B C

4 総合判定と今後の方向性

【1次評価】	判定	今後の方向性や改善方法など
事務事業担当部局の総合判定 【上記3の評価と改善を踏まえ、今後の方向性についての総合判定と改善方法を記入】	拡大・重点化する 現状のまま継続する 見直しの上で継続する 統合する(検討含む) 縮小する(検討含む) 廃止・休止する(検討含む) 終了	児童センターは、児童が安心して遊べる場として、また児童のみならず子育てに関わる団体や地域の住民にも幅広く利用されている。センター祭りなどの定期的な行事の開催により、より多くの児童の利用を促進し、子どもの居場所、遊び場として定着しつつある。今後はさらに午前中(平日学校のある日)の活用を進め、地域における子育て支援の中心的役割を果たすとともに、地域性を考慮し整備を進めていく。
【2次評価】	判定	今後の方向性等
行財政構造改革推進本部の総合判定	拡大・重点化する 現状のまま継続する 見直しの上で継続する 統合する(検討含む) 縮小する(検討含む) 廃止・休止する(検討含む) 終了	児童センターの管理運営については、委託や指定管理者制度の導入を検討していく。